

みなさん知っていますか？

安全な雪道対策への取組

砂箱について

砂箱の中には、砂が入っています。



砂箱の砂は、危険なつるつる雪道を滑りにくくするためのもの。歩行者のみなさんが自由にまけるように設置してあります。

新しい取組について

札幌中心部の横断歩道などで、すべりにくい路面づくりの実験をしています。



グルーピング溝と呼ばれる路面の特殊舗装を施工。凍結路面を防ぐ新技术を開発しています。

冬期ボランティア・サポート・プログラム



地域の皆さんと道路管理者が一緒に行う、冬の安全な歩行環境づくり活動を実施しています。

札幌開発建設部では、同プログラムに参加希望の地域団体を募集しています。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

詳しくは札幌開発建設部のホームページをご覧ください。
<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>

つるつる雪道に負けない！

転ばないコツをおしえます。



北海道開発局



札幌開発建設部 / 札幌市

冬、札幌市内では、スケートリンクのようにすべりやすいつるつるの雪道ができることがあります。転んでケガをしないために「転ばないコツ」をつかんで気をつけて歩きましょう！



転ばないコツ/その1「歩き方を工夫する」

- できるだけ靴の裏全体を路面につけて歩く。
(路面と接する部分が広く、滑りにくい加工の靴を選ぶ。)
- 見るからに滑りそうな道は、小さな歩幅でそろそろ歩く。
- 雪と氷まじりの道は、ヒザから下を垂直に地面へ降ろすように踏み出し、体の重心はやや前にかける。

転んだ時のことを考え、帽子をかぶり、肘・膝のサポーターをつけるなどの工夫も必要。光が反射していたり、氷がはっている所は避けて歩きましょう。
(歩き方指導/北海道大学体育指導センター助教授 教育学博士 川初清典氏)



転ばないコツ/その2「路面に注意する」

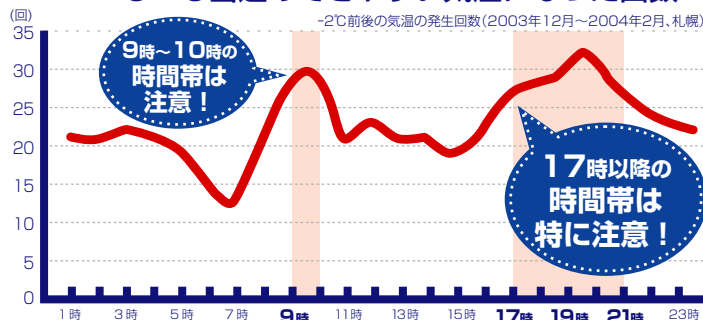
- 横断歩道(車道)と歩道の境目、車道に続くゆるやかな斜面。
- ロードヒーティングの切れ間。
- 路面が乾いているように見えても、薄く氷がはっている場合がある。
- 新しく降りつもった雪で、つるつる雪道が隠れている場合がある。



転ばないコツ/その3「つるつる雪道のできやすい条件をチェックする」

- 気温が-5℃を下回るような厳しい冷え込みの時よりも、-2℃前後の時につるつる雪道ができやすい。
- グラフのように朝9時～10時の時間帯は注意する。また、夕方5時以降の時間帯は特に注意が必要。
- 急に暖かくなったり、急に冷え込んできたときは、路面の状況も変わりやすい。気温の変化に注意して油断しないことが肝心。

つるつる雪道のできやすい気温になった回数



こんなに多い！ 冬道転倒事故

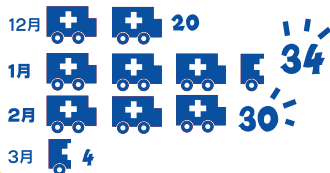
平成15年12月～平成16年3月末
までの4ヵ月間に、中心部で転倒し
救急車で運ばれた人は合計88人！
この他にも大事に至らなかった
だけで多くの人が転倒しているはず。
今年の冬は、各所に設置されている
砂箱をフル活用して安全に
冬を過ごしましょう！



1月と2月が転びやすい！

この時期は、日中の気温が若干高くなる頃。昼間に雪がとけ、夜の冷え込みとともに凍った、氷状の道が多かったと言えます。

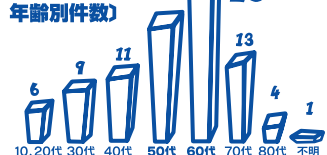
【救急車出動件数】



50代、60代が転びやすい！

年齢別で比べると50歳代、60歳代の人転んでケガをすることが多いようです。会社に勤めている人で、通勤途中や仕事帰りに飲食街へと繰り出した人たちが考えられます。

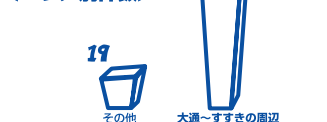
【負傷者年齢別件数】



大通～すすきので転ぶ人が多い！

大通とすすきの周辺がダントツに転倒事故が多発。大通公園周辺は、雪まつりなどの冬のイベントが多いことがあげられます。すすきの周辺は、やはりお酒を飲んで酔っぱらってというのが大きな原因ではないかと考えられます。

【エリア別件数】



夜6時～深夜12時が多い！

多くの人が転んでいる時間は、夜の時間帯に集中。これは、お酒を飲んで足下がおぼつかない状態になってしまっていると思われます。

【時間帯別件数】

